

公益社団法人 日本地すべり学会

第54回研究発表会及び現地見学会において受賞

環境創生理工学教育プログラム 博士前期課程2年 本明 将来さん

2015年8月25日から28日まで山形市で開催された第54回研究発表会及び現地見学会において、環境創生理工学教育プログラムの本明将来さんが優秀若手ポスター賞を受賞した。論文題目は「2013年伊豆大島台風災害における表層崩壊機構に関する実験的検討」で、横内啓隆さん、若井明彦教授、後藤聡准教授(山梨大)との共著である。

2013年10月に発生した台風26号の際、伊豆大島では三原山麓の西側の斜面で大規模な斜面崩壊が発生した。斜面崩壊が発生した詳細な原因やメカニズムについて模型実験を行い、現地の状況と合わせて検討した。豪雨により地盤中の火山砂の層に大量に地下水が流入し、地盤の強度低下を引き起こす。その結果、せん断破壊が先行する斜面崩壊が発生したと考察した。加えて、得られた知見と課題から今後の展望についても言及し、研究の方向性について示している。

緻密な実験を行い、得られた結果と実際の状況を比較していること、実験事実に基づいた定量的な検討を行っていることなどが評価され受賞につながった。

